



調査の目的



■自然環境の「指標」となり、かつ、身近な生きものである「セミ」のぬけがらを調査することにより、自然環境の「現状」と「時系列変化」を把握することを目的に、子どもから大人まで、広く府民との協働による調査を行う。

■調査は「HPJ」を使って府民に参加を呼びかける方法と、府内の小学校に対して「環境学習」の一環として実施を呼びかける方法の2通りを柱として進めている。

■小学校から学年 or クラス単位で参加申込みがあり、本調査をテーマにした「自然環境学習」を実施する学校に対しては、地域のNPOを講師として派遣し、効果的な「環境学習」を支援する。  
(地域のNPOと子どもたちの“世代間交流”の促進にもつながることを期待)

■調査結果は「おおさかせみの分布地図」として府域を約1,030の公立小学校区に区分した地図上で表示、公表するが、これは参加者みんなで作った“自然環境学習教材”にほかならず、その活用についても広く呼びかけていく。

H16年度(初年度)の調査結果

■調査が実施された小学校区の数 ... 97校区(申込み:109校区)

※府内の公立小学校区数:約1,030校区



■参加者 ... 5,000人以上

■参加形態 ... 小学校:73校、こどもエコクラブ・一般参加:24校区

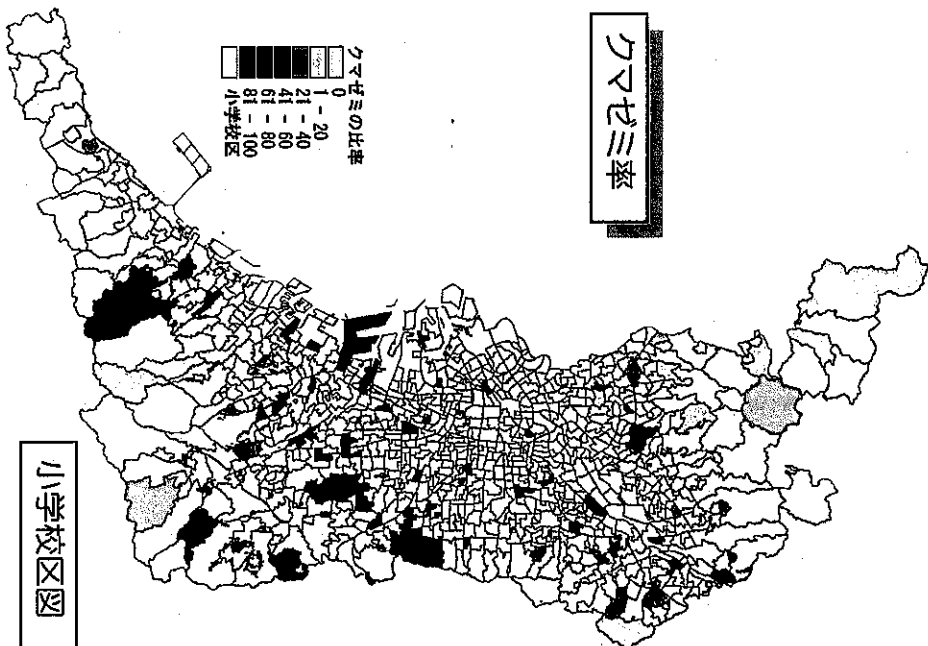
※主にクラス単位や学年単位で総合学習の時間や昼休みに、或いはPTA活動の一環として、校庭や近隣の公園、社寺等で調査が行われました。>

■調査回数 ... 総数:21,816回 《今回、調査対象としたのは下記の6種類》

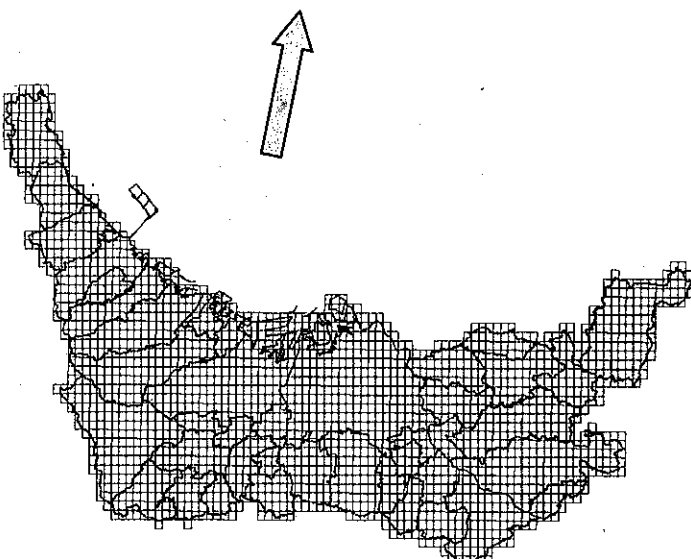
内訳	クマゼミ: 12,397個	アララゼミ: 6,994個
	ミンミンゼミ: 940個	ヒグラシ: 743個
	ツツクボウシ: 391個	ニイニイゼミ: 351個

■NPO派遣校 ... 58校 派遣指導員数:246名 ※いずれも「延べ数」

調査結果の公表

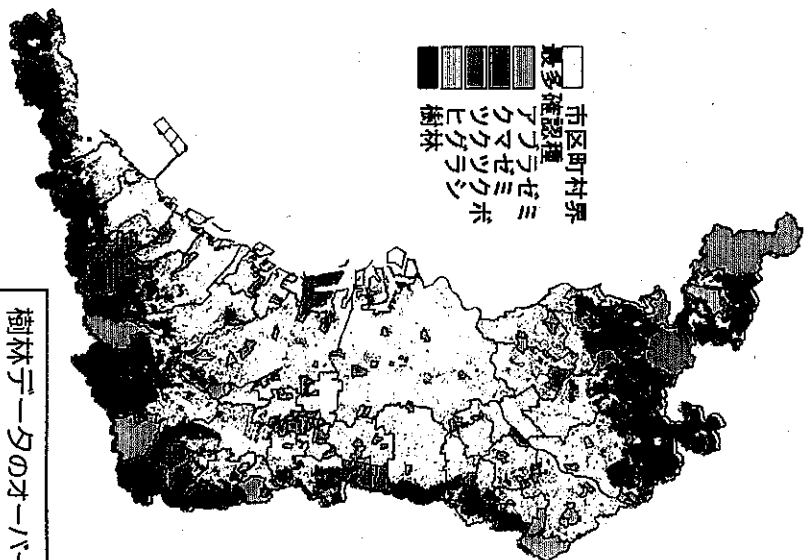


小学校区図

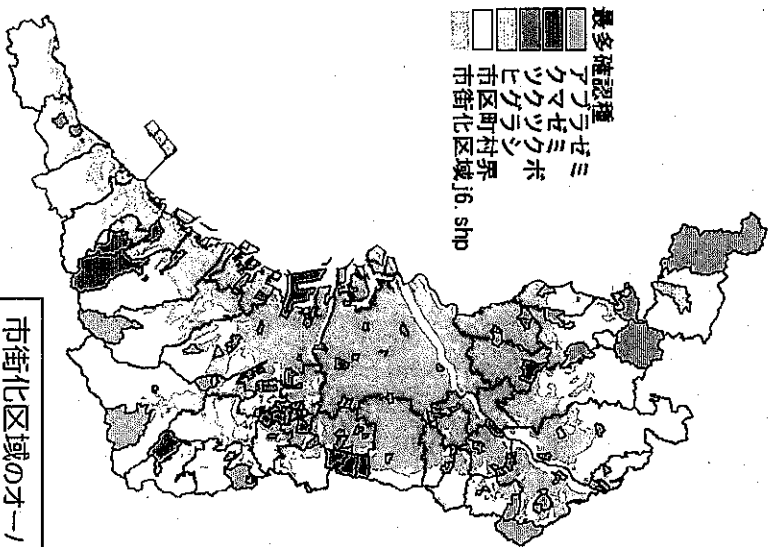


3次メッシュ図

調査結果の分析



樹林データのオーバーレイ



市街化区域のオーバーレイ